

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 朝田佳尚

提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文：近代と現代の日本における空間の管理と親密圏の再創造に関する調査研究

英文：A Investigative Research about Control of Space and Reorganization of Intimate Sphere in Modern and Contemporary Japan

【メンバー構成】

研究代表者：朝田佳尚

幹事：西川純司

メンバー

【ねらいと目的】（600 字程度）

グローバル化に象徴される社会の流動性の上昇は、現代社会を不安定にすると同時に、社会生活における個々人の不安感も増大させている。実際に、こうした現象は犯罪と社会空間の監視・管理の社会的欲求として確認できるように思われる。たとえば、監視カメラなどの最新のテクノロジーを用いた防犯対策は、社会全体を見通すまなざしの希求（あるいは、その断念）の具体的な現れとして理解できるだろう。しかし、こうした社会空間の透明性の確保あるいは可視性の強化という現象は、現代社会に特有のものではない。それは、近代社会（初期近代）においてすでに展開されていた。ただ、近代と現代では、社会空間を可視化するまなざしが要請される論理や、そこで実際に使用されるテクノロジーには差異があると考えられる。そこで、本研究ユニットは、ガラスと監視カメラをそれぞれ近代と現代の象徴的なテクノロジーとして取り上げ、近代／現代の社会空間を編成する論理を析出しようと試みる。また、この空間の編成は親密／公共の領域の区分と不可避に結びつくと考えられることから、各時代の前後において何が親密圏として捉えられるのかを、「親密圏の再創造」として把握しようとする。

【活動の記録】

Yoshitaka Asada, 2010, Neo-Liberalism and Communitality, in 17th ISA World Congress of Sociology

西川純司, 2010, 「ヴァルター・ベンヤミンにおけるガラスのモチーフ——「経験と貧困」と『パサージュ論』の理論的検討」『京都社会学年報』18, pp. 1-15, 2010 年 12 月 25 日発行

朝田佳尚, 2010 年 9 月 3 日, 東京都, 第 10 回日本防犯設備協会特別セミナーへの参加

朝田佳尚, 2010 年 11 月 7~8 日, 神奈川県, 監視カメラ設置に関する聞き取り調査

西川純司, 2010 年 9 月 4~5 日, 東京都, 大正・昭和初期の窓ガラス受容に関する資料調査

朝田佳尚・西川純司, 2011 年 2 月 17 日, 京都, 研究成果発表会

【成果の概要】（800 字程度）

近代と現代の日本社会における空間の管理を比較するという研究のねらいを考慮し、本研究ユニットでは新聞や雑誌という共通の資料を主に収集し、分析を行うことにした。研究成果をプロジェクトメンバーごとに概説すると、以下のようになる。

西川は、戦前期を対象に、住宅に窓ガラスが採り入れられる過程を分析しつつ、これらの歴史的な過程を国家による都市空間の管理との関連で考察した。分析の素材には、一般家庭向けの雑誌や新聞、専門誌などの資料を選んだ。分析の結果、住居における衛生環境の改善のための設備として窓ガラスが理解され受容されていたこと、またこれらのプロセスが都市空間における公衆衛生の確立という国家プロジェクトと結びついて進行していたことが明らかになった。

朝田は、現代における監視カメラというテクノロジーの広まりに着目しながら、現代的な空間の管理を分析した。収集したのは、西川と同様に、主に国会図書館および大屋壮一文庫で新聞、雑誌、専門誌などの資料である。それらを分析した結果、監視カメラの担い手が国民国家から地域住民に移っていること、また設置箇所が施設内から街路などの開放的で多数の人びとが行き交う公共空間に移っていることが明らかになった。そこから、現代においては地域の人びとによる公的空間の私化という管理の様式が姿を現しつつあるのではないかと考察している。また、朝田はこうした資料の結果を確認するために、神奈川県での資料収集とフィールドワークもあわせて行い、分析の結果を検証した。

このように、本研究ユニットは、西川と朝田が各自で行ってきた昨年度までの次世代ユニットの成果を踏まえながら、さらにそれを空間の編成という観点から展開させようと試みた。

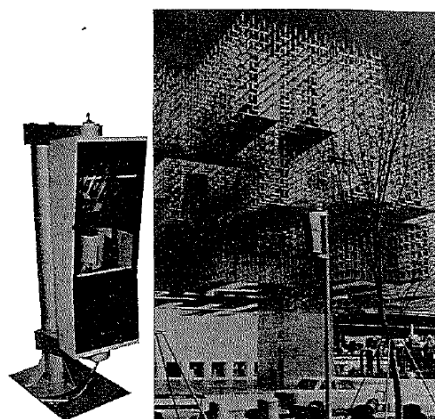
【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	200	(千円) 実績額 200 千円



家庭における窓ガラスの掃除の様子



初期の街頭監視カメラの資料